



井奥まさきの 市政報告NEWS

2002・7
No.16
夏号

このNEWSは、無所属・市民派の高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

助役・教育長が辞任する異常事態

現状の高砂市では良くない！再生に努力します

高砂市会議員
井奥まさき

私は現在の高砂市について「先送り体質」「隠ぺい体質」を中心に批判してきました。

高砂市で助役・教育長が辞任するきっかけとなった事件もまさにそうした体質そのものです。それは3月議会の際、竜山中学校事件関係の処分が遅れたことを隠ぺいしようとして、助役・教育長が虚偽答弁・書類偽造をしたものです。4月に議会の追求で全てが明らかになり、5月14日に辞任となりました。

私は「今の高砂市では良くない」と思っています。その象徴が今回の「助役・教育長辞任」です。6月議会は、二つの席がぼっかりと空き、しかも総務部長は助

役が兼務していたため、急きょ任命された県出向の理事。異常事態としか言いようがありません。

話は変わりますが、「市民の目」という市民オンブズのメディアが「市政に対しての市民の満足度」と「田村市長の支持率」を調査していました。

市政に満足している人39%、していない人40%。

田村市長を支持する人36%、支持しない人21%。非常に興味ある結果です。

その原因について「市長・行政・議会」とそれぞれについて市民のみなさんは受け止められていると思われます。9月1日告示、8日投票の市長選挙・市議会議員

選挙はそれを考える大きなチャンスです。私は私なりの「高砂市再生プラン」を1～3頁に示しました。

ぜひみなさんと一緒に「再生」について考えたいと思います。

井奥まさきの財政公開

収入	
4-6月分報酬(月52万2000円)	156万6000円
期末手当(6月分)	123万0615円
支出(4月～6月)	
所得税	22万2895円
議員共済	17万7750円
国民年金	3万9900円
国民保険	12万0000円
市県民税	10万1200円
一・二会費	6000円
ともに市政を考える会活動費 (ニュース発行費、人件費、事務所費など)	72万8870円
借金返済、次回選挙費用積立	50万円
井奥まさき生活費・行動費	90万円
(15万×3ヶ月、一時金45万)	

井奥まさき 議員活動日誌 全3回
その3 次の4年 私のめざすもの
え 水野良太

高砂号はエンスト状態

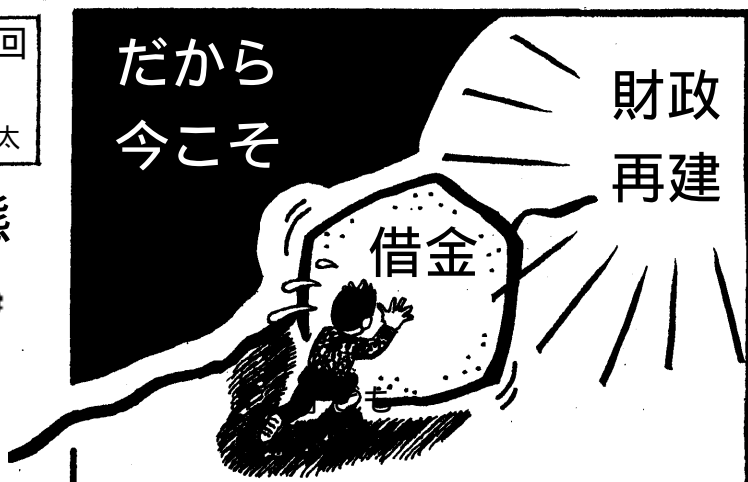
借金返済が
増大する
2004年は
高砂破綻の
年かも



井奥まさき 生い立ち
1965年高砂町生まれ。36才。
父・育男と母・英子、妹・由紀子の4人家族で高砂市中島(今市自治会)で育つ。伊保小学校から淳心学院中・高等学校をへて岡山大学法学部へ。

だから
今こそ

財政
再建



教育も福祉も
財政(お金)があつてこそ
私、井奥まさきは
"市民の行革"に力を注ぎます

田村市長の成績表は...36点 「先送り・隠ぺい体質の行政を批判」

会派を組んで初めての代表質問になりました。今までの総決算ともいえる質問でした。詳しい報告は議会だよりに譲るとして、二つの質問をご紹介します。



市長の成績は36点、落第です

もし高砂市が...

井奥 「世界がもし100人の村だったら」という本がベストセラーになっています。もし、高砂市が年収350万円の市民だったらその家計は...と考えます。

借金は343万円、貯金が2万6000円。親戚に下水さんとか病院さんがおられ、下水さんは427万円の借金をしています。他にも土地開発公社

の方が90万円くらい借金をしているのですが、その連帯保証人になっています。(注 以上の数字は、高砂市の一般会計予算350億円を1万分の1に縮小したものです。万を億に変えれば高砂市の現状が見えます。)

私は、今の高砂市財政は破綻状態だと思います。その責任は、やはり市長の責任、財政当局の責任というのが大きいのではないのでしょうか。

井奥 プラスとしては、市民への親しみやすさとか、市政がわかりやすくなったという点はあげられると思います。

しかし、マイナス点としては、計画性のなさやイベント行政をあげます。「2年間で箱物の懸念事項を解決した」と胸を張っておられるが、市民のニーズと合っていたか非常に疑問です。例えば、公民館エレベーターや荒井漁協集会場など市民からの大きな批判を浴びています。

また、行政改革や滞納問題などの懸念事項は先送りされたままです。

イベントと箱物に奔走した結果、エネルギーを別に使ってしまったのでは。私の評価は36点、落第です。

田村市長が「スーパー市長」に変身するか、新しい人が出ないと高砂市は破綻です。

もし高砂市が年収350万円の市民だったら

(平成8年度 対 平成12年度) 代表質問は平成13年データを使用

	平成8年度(大内市長)	平成12年度(田村市長)
普通建設事業 いわゆる「箱もの」	34万1900円	105万2600円
地方債現在高 いわゆる借金	176万5700円	283万7400円
積立金現在高 いわゆる貯金	18万7800円	8万3600円

井奥まさきのめざすもの

"市民の行政改革"のためには



その1

市民・行政・議会が
みんなで徹底的に話し合う

その2
情報は
すべて開示

良いことも
悪いことも
全部公開

「悪いこと」こそ
早め、早めに
知らせなくっちゃ



その3

ゼロから一度
事業を考え直す

- ・既存の施設を有効利用
- ・ソフト事業も有効性を再検討

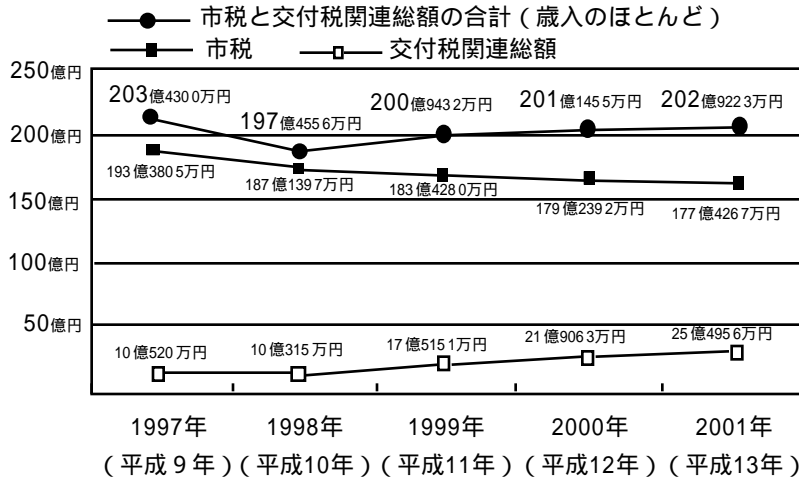


特に...ハコモノ建設を一から考え直す

新図書館は規模を縮小して早期実現を

財政破綻は、景気のせい（市税減少）ではない！

無謀な財政運営が破綻の原因と判明



（総務委員会資料より）

では、なぜ2年連続決算が赤字などという事態が起きるのでしょうか？それは、「過剰な歳入見積もり」と「歳出を削れない行政体質」だからです。

過剰な歳入見積もりをやめ、「削る」議論を

本会議や委員会で「売れない土地を収入に計上」「地方交付税交付金の過剰な見積もり」が問題になりました。「出」にあわせて「入」を操作するからそんなことになります。

家計や会社でそんなことをしたら、あっという間にパンクですが、銀行が貸してくれるだけに失敗の構図が見えにくくなっています。

こうして、ツケは全部決算に持ち越されます。このままでは、3年連続赤字や赤字の累積による「財政再建団体転落」も予想されます。

今必要なことは、率直な情報開示と「削る」議論だと思います。

入ってくるお金、ほぼ横ばい
代表質問などを通じ、「財政破綻の責任は行政運営だ」「いや不景気による税収の落ち込みだからしょうがない」という議論がされていました。私は、そのことをデータで確かめるべく、資料を要求しました。

そこでハッキリしたことは、次のとおりです。市税は確かに落ち込みがあり、表でも15億円の減収となっています。しかし、一方で国などから入るお金はその分増えています。

合計の金額は横這い、あるいは微増というのが実態でした。

「出」を削らないから破綻に思い起こせば、足立市政末期・大内市政で「地方交付税不交付団体」の時が一番苦しかったと思われま。市税が落ち込むのに、国からお金がこないわけですから。平成10年（大内市政最後）と13年を比べれば、むしろ現在の方がラクになっていることがよくわかります。

私の考える行政改革

その1 効果のなくなった事業を見直す

「今までやってきたから」ではなく、事業効果を検討すべし（多すぎるサービスコーナーの統廃合、波賀高砂の家の廃止、オーストラリアへの青少年派遣は自己負担で）/ 公共事業談合問題、滞納問題へもさらに厳しい姿勢で

その2 イベント行政は中止

行政がでしゃばるのではなく、市民の自主的な活動を支援することを徹底して / 「高砂サミット」は中止を

その3 人件費抑制は「痛み の配分」を考えて

経営陣（部長・参事クラス）が大きな負担を / 無駄な手当抑制を



そして、次の4年間は...

しがらみのない立場からキチンと発言
いつでも情報公開と市民参加を
一緒にやれる議員とともに政策実現を
一番重視するのは、教育と福祉と環境
そして...財政の健全化



6月議会で明らかになった2つの問題について報告します

その1

土地開発公社の100億円事業失敗 工業公園用地が売却見込みたらず

工業公園用地売却(サントリー周辺の土地)は総額100億円近い事業です。しかし、6月議会で「土地の売り払いめどは、まったく立っていない」と行政側が答弁しました。借金の利子は年1億円以上です。利子が利子と呼び、2002年度の支払いは2億7000万円となっています。

その他に米田多目的広場(図書館用地)ユーアイタウン用地(複合福祉センター)が「塩漬け」となっており、年間3000万円以上の利子が必要です。

工業公園売却のための支援策が検討されていますが、それはそれで市の負担が増えることとなります。

今の支援案でも年間1億円以上の負担増です。「進むも地獄、退くも地獄」とはまさしくこのこと。「早急に理事長を替え、対策を議会とともに考えるべき」と提案しました。

その2

子どもは実験道具じゃない

「幼保一体化」施策の迷走に怒っています!

2年保育(4歳児入園)の方針もはっきりしないまま、唐突に「幼保一体化」が進められようとしています。もともとは「施設の共有」という説明だったのが、「阿弥陀幼・保でカリキュラム実践」「園長一人制度」と先行的に案が示されていきます。



しかし、その内容を議会で質問をすると、ことごとく「検討」状態。私はこの「一体化」は「お金の節約のため、幼稚園を保育園化する」という施策にしか見えません。補助金が多い保育園の方を幼稚園より優先させたい思惑が透けて見えます。

節約するところは他にもたくさんあります。子どもたちは一年一年が勝負。迷走する「試行」で子どもを実験道具のように扱う行政の姿勢に憤りを感じます。

加古川市市議選で新人

井筒たかお君(32)勝利!



加古川市にも「いきいきネットワーク」の仲間が増えました。加古川市と共通する課題について一緒に取り組んでいきたいと思っています。

井奥まさき日誌(抄)

- 4月
- 3日 議会運営委員会
- 8日~11日 臨時議会
- 15日 議会だより編集委員会
- 17日 全員協議会(虚偽答弁・資料作成問題)
- 20日 山頭火全国大会
- 21日 泉南市(大阪府)市長選挙支援
- 25日 代表者会議
- 27日 まちづくり協議会
- 30日 全員協議会(アスパ公園用地取得問題)

- 5月
- 11日 市政報告会(今市事務所)
- 12日 市政報告会
(アーバンコンフォート、紙町集会場)
- 14日 代表者会議
- 15日 議会運営委員会
- 18日 「破綻か再生か」シンポジウム
(生石研修センター)
- 19日 灰谷健次郎講演会(勤労会館)
- 20日 宝殿駅付近組合協議会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 バックアップスクール 講師(天理市)
- 28日 3月議会(~6月21日)
- 30日、31日 議案熟読

- 6月
- 2日 山の牛乳共同購入の会イベント
- 3日 代表質問
- 4日~7日、10日~12日 議案質疑
- 13日 一般質問
- 14日、17日~20日 委員会
- 15日 まちづくり協議会
- 21日 最終日 討論採決、陳情・請願採決
- 23日~30日 加古川市市議選応援



- 7月
- 1日 全員協議会(幼保一体化・土地開発公社)
- 2日、3日 市議選挙・市長選挙説明会

井奥まさきと

ともに市政を考える会 協力者・仲間たち集まれ!

節目の年を迎え、いつも協力をいただいている方とともに市政について考えたいと思います。

井奥まさきと一緒に市政を考える気持ちのある方は、どなたでも結構です。ぜひご参加を。

とき 8月11日(日)午後2時~
ところ 井奥まさき事務所
(今市1-4-11)

市政にこんなことを望みたい!
これはどうなっているの?

市政・市民相談受けつけます

TEL 0794-44-2343
FAX 44-2418
e-mail:ioku3@hotmail.com

あなたの近くでも市政報告会を企画して下さい。何人でも結構です。市内どこでもかけつけます。